

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|-------------|----------------------------------|----|-----------|
| ○事業所名 | あかいわ児童発達支援センター（放課後等デイサービス こぶしの家） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 7年 1月 7日 ～ 7年 1月 17日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 35 | (回答者数) 32 |
| ○従業者評価実施期間 | 7年 1月 7日 ～ 7年 1月 14日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11 | (回答者数) 11 |

| | |
|----------------|-----------|
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 7年 3月 14日 |
|----------------|-----------|

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。 | ・コーナーに活動拠点を分散させてスペースを確保している。 ・個別のスペースについても、使用に際して職員とルールを決めるなどして使用している。 | ・現状に満足せず、利用している子に合わせた環境作りを職員全員で考える。 |
| 2 | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 支援計画の作成については、支援会議やケース会議など定期的に職員（常勤、時間勤務みんなで）で話す時間を設けています。それを懇談で丁寧に説明するよう心がけている。 | ・こどもたちのにとって適切な計画を作成し、保護者にも丁寧に伝え、一緒にこどもの育ちを支える。 |
| 3 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | ・懇談で保護者の方の気持ちをしっかり聞き取る事で寄り添った計画ができています。 ・送迎時や連絡帳、必要に応じての懇談により、保護者との連携を丁寧にしている。また、こどものいい姿を保護者と共有できるようにしている。 | ・こどものいい姿を捉え、保護者と一緒に育ちを喜び合える関係づくりを今後も心がける。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。 | 事業所外活動は計画的に行ったが、学童や児童館との交流はできなかった。 | 夏休み等、計画的に交流の機会を設ける。 |
| 2 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供等の機会が少ない。 | 家族支援の研修の機会を設けることができなかった。 | なるべく多くの方が参加できるよう、開催日や頻度について検討する。 |
| 3 | きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援が少ない。 | きょうだい児の集う機会を設けたが、周知方法が今一つできていなかった。 | きょうだいが集える機会を見直し、様々な子同士が交流できる機会を設ける。 |

保護者等からの事業所評価の集計結果 あかいわ児童発達支援センター(放課後等デイサービス)

回答数32／家庭数35(回収率91.4%)

公表日 令和7年3月14日

| 内容 | | ご意見 | | | | ご意見を踏まえた対応 | |
|--|---|-------|-----------|-------|--|--|---|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 28 | 3 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・スペースは確保出来ていると思いますが、十分か？と言うとそうでない時もある。 ・外遊びする場所が他の事業所と比べて広いと思う。 ・ロッカーの位置が変わってからより広くなったと思います。 | 利用人数や、利用児に合わせて活動スペースの確保や見直しを都度図ります。 |
| | 87.5% | 9.4% | 0.0% | 3.1% | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 18 | 8 | 0 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・規定の配置数かとは思いますが、客観的に見ると先生達がバタバタして大変そうだな。と感じます。 ・少ないと感じます。 ・先生が足りないから心配と思った事は無いです。 | 時間帯によって、職員がバタバタしてしまうことがあります。連携を図りながら、落ち着いて過ごせるよう心がけます。 |
| | 56.3% | 25.0% | 0.0% | 18.8% | | | |
| 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境(子ども本人にわかりやすくすること)になっていると思いますか。また事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 30 | 2 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・特に気になる箇所は無いです。 | | |
| 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 30 | 2 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・迎える時間にはきれいに掃除されています。 ・安全な配置にされていると思う。 | | |
| 適切な支援の提供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 29 | 3 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・そう思います。本当に助かっています。 | 研修参加や、事例検討など職員も学びの機会を持っています。今後も、ここに合わせた支援ができるよう、専門性を高めます。 |
| | 90.6% | 9.4% | 0.0% | 0.0% | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容とあっていると思いますか。 | 29 | 0 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画は本人にあったものを提示して下さるので助かっています。 | |
| | 96.9% | 0.0% | 0.0% | 3.1% | | | |
| | 7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。 | 31 | 0 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・本人の事、家族の悩み等、困った時は直ぐに相談出来るので、心強いです。お陰で色んな場面を乗り切れています。 | |
| | 91% | 3.1% | 0.0% | 6.3% | | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 29 | 1 | 0 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ達成出来ているのでそうだと思います。 | |
| 91% | 3.1% | 0.0% | 6.3% | | | | |
| 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 31 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事を取り入れて下さっていて、いつも有難いです。 ・新しい色んな事に取り組んで下さっていると思います。 | 固定化すべきことと、変化を楽しむことを使い分けて、活動の充実を図ります。 | |
| 96.9% | 3.1% | 0.0% | 0.0% | | | | |
| 10 事業所の活動プログラムが固定化しないよう工夫されていると思いますか。 | 24 | 4 | 0 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・それは無いと思います。 | 法人内の学童クラブの児童と計画的に交流する機会を設けます。 | |
| 75.0% | 12.5% | 0.0% | 12.5% | | | | |
| 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。 | 10 | 7 | 5 | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありました。 | | |
| 31.3% | 21.9% | 15.6% | 31.3% | | | | |
| 保護者への説明等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 30 | 1 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・一つひとつ説明して下さいました。 | |
| | 93.8% | 3.1% | 0.0% | 3.1% | | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。 | 32 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか参加できてませんが、機会があるのは通達されています。 ・良くお声掛けをしてくださいます。 | 保護者対象の家族支援プログラム等の研修も、計画的に実施します。 |
| | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供等の機会が行われていますか。 | 22 | 2 | 1 | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・お迎えの時に良く伝えて下さったり、コチラから伝えたりします。 | |
| 68.8% | 6.3% | 3.1% | 21.9% | | | | |
| 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。 | 30 | 2 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・して下さります。 | | |
| 93.8% | 6.3% | 0.0% | 0.0% | | | | |
| 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 29 | 2 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・して下さります。 | | |
| 90.6% | 6.3% | 0.0% | 3.1% | | | | |

| | | | | | | | | |
|----------|--|--|-------|------|------|--|--|--|
| 保護者への説明等 | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いませんか。 | 31 | 1 | 0 | 0 | ・そう思うことがよくあります。 | |
| | | | 96.9% | 3.1% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 25 | 3 | 0 | 4 | ・定期的に開催して下さっています。 | 保護者会役員の方々が、環境整備等を開催してくださいました。きょうだい児の集まりについても、実施はしていますが、周知方法や実施内容を再検討します。 |
| | | | 78.1% | 9.4% | 0.0% | 12.5% | | |
| | 19 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者にそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 27 | 1 | 0 | 4 | ・先生同士の伝達がキチンとなされていて、いつも凄いなと思います。 | |
| | | | 84.4% | 3.1% | 0.0% | 12.5% | | |
| 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いませんか。 | 31 | 0 | 0 | 1 | ・自分の方が言葉足らずですが、職員の方々にはいつも助けられていて有難いです。 | | |
| | | 96.9% | 0.0% | 0.0% | 3.1% | | | |
| 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果が子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 30 | 2 | 0 | 0 | ・施設だよりでよく見させていただきます。 | | |
| | | 93.8% | 6.3% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 22 | 個人情報の取り扱いに十分留意されていると思いませんか。 | 30 | 2 | 0 | 0 | | | |
| | | 93.8% | 6.3% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 26 | 2 | 0 | 4 | ・されていると思います。 | 各種マニュアルは整備しています。また、事業所の入り口にファイルを置いてありますので、お手すきの際にぜひご覧ください。 |
| | | | 81.3% | 6.3% | 0.0% | 12.5% | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。 | 28 | 0 | 0 | 4 | ・されています。 | |
| | | | 87.5% | 0.0% | 0.0% | 12.5% | | |
| 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いませんか。 | 29 | 2 | 0 | 1 | | | |
| | | 90.6% | 6.3% | 0.0% | 3.1% | | | |
| 26 | 事故等(怪我を含む)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いませんか。 | 29 | 1 | 0 | 2 | ・小さな傷位しか有りませんが、説明等があります。 | | |
| | | 90.6% | 3.1% | 0.0% | 6.3% | | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 29 | 2 | 0 | 1 | ・安心しています。 | |
| | | | 90.6% | 6.3% | 0.0% | 3.1% | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 23 | 5 | 2 | 2 | ・いつも抵抗なく通っています。 ・通所がというより、家が好きな事が出来るので良いようです。 ・非常に楽しみに通わせていただいております。 | 子どもたちにとって、ゆったりくつろげる『家』であるよう、これからも活動や環境、支援について工夫します。 |
| | | 71.9% | 15.6% | 6.3% | 6.3% | | | |
| 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 30 | 1 | 1 | 0 | ・いつも先生方には良くして頂き、親子で安心して通所させていただいています！ありがとうございます。よろしく願い致します。 ・とても満足しています。将来作業所やグループホームを希望します。 ・祝日、日曜日もあけてほしい。 ・いつも子どもたちに温かく寄り添ってくださり、感謝しています。施設は清潔で安全面にも配慮されており、安心して利用させていただいています。また、スタッフの方々が一人ひとりの子どもの特性を理解し、丁寧に対応して下さる姿勢に満足しています。子どもが笑顔で過ごせる環境が整っていることに、親としてとても心強く感じています。 ・大変満足しています。むしろ、将来、通所出来なくなる日が来るのが不安です。 | いつも、事業所の運営にご理解・ご協力いただきありがとうございます。保護者の皆様の理解があり、一緒に歩んでいるからこそ、私たちの支援が充実できていると感じています。卒所後も、子どもたちや保護者の方々とのつながりを大切に、集えるような機会を企画します。今後も、子どもを真ん中に保護者の皆さんと一緒に子どもたちの育ちを喜び合いたいです。何かある時は、いつでも気軽にお願いさせていただきます。 | |
| | | 93.8% | 3.1% | 3.1% | 0.0% | | | |

公表 事業所における自己評価結果

あかいわ児童発達支援センター（放課後等デイサービス こぶしの家）

公表日 令和7年3月14日

| 項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|----|-----|--|------------------------------|
| ①利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | ・適切であるとおもいます。 | ・基準を満たしているが、スペースの工夫が必要な時もある。 |
| ②利用定員やこどもの状態などに対して、職員の配置数はあるか | ○ | | ・職員の役割分担ができていると思う。 ・職員数が増え、活動にもゆとりができています。 ・時間勤務の職員が数も技量も充実しつつあり、軌道に乗ってきました。ありがとうございます。 ・適切であると思います。 | |
| ③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | ○ | | ・机やマット、段差等を使いスペースを区切っている。 ・活動によって、空間として広すぎる場面が見受けられます。 | |
| ④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。こども達の活動に合わせた空間となっているか | ○ | | ・日々の掃除や玩具消毒を徹底している。遊びスペースやくつろぎスペースを分け、こどもが自分で必要としている場所を選ぶことができる。 ・清掃、消毒はしっかりおこなっている。ふとん、毛布などは使った後に毎回、干している。 | |
| ⑤必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか | ○ | | ・個別室は職員とルールを決めるなどして使用している。 ・個別に必要な時は相談室なども使用している。 | |
| ⑥業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | ・昨年よりは取り組んでいる。 ・支援会議やケース会議など定期的にできるだけ多くの職員で話す時間を設けています。 | ・職員会議などにおいて、振り返りの項目があると良い。 |
| ⑦保護者等向け評価表により保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか | ○ | | ・年に一度、保護者の施設に対する評価アンケートを行っている。 | |
| ⑧職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか | ○ | | ・定期的に話し合う機会を設け、職員が同じ方向で支援できるように努めている。 | |

| | | | | |
|---|---|---|--|---|
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・その都度話せている。 ・職員会議にはできるだけ多くの職員が参加できるような時間を設定している。会議以外でも職員同士の情報共有やコミュニケーションを大切にしている。 | |
| ⑨第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・実施していないため検討は必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後、第三者評価等の導入を検討する。 |
| ⑩職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・向上するための研修機会が設けられている。 ・職員体制をみて調整をしてくださっており、参加できている。 ・短時間の非常勤職員への研修が少ないが、研修後は職員全体で研修内容を共有することを心掛けている。 | |
| ⑪適切に支援プログラムが作成、公表されているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・公表している。 | |
| ⑫個々の子どもに対して、アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いに寄り添い、職員間で検討して計画を作成している。 | |
| ⑬放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・できる限り、日々関わっているひとが多く集まる時間に話し合いを設定している。 ・支援計画作成検討会議にはできるだけ多くの職員が参加できるようにしている。勤務時間の関係で参加が難しい職員にも事前に意見をきいている。 | |
| ⑭放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を熟読し、共有している。 ・保護者の同意が得られた後に回覧している。また支援計画を直ぐに見ることができるようにファイルを作っている。 ・新しい支援計画は職員が閲覧できるようにしている。 | |
| ⑮ こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にあセスメントを実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを行い、より具体化した達成しやすい目標設定となるようにする。 |
| ⑯放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿って作成している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族支援や移行支援は対応が共通になりがちなので、一人ひとりに沿って考えたい。 |

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | | | | |
| ⑰活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・クラスに入る職員間で話し合っている。 ・相談しながら考えるようにしており、職員も得意分野を生かせるようになっている。 | |
| ⑱活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・その日利用児童に合わせた活動や、季節や時期に合わせた活動を意識している。 ・継続することも大切だと思うため、その日の利用児童に合わせて考えている。 | |
| ⑲こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・年齢に幅がある際は、個別活動を取り入れ、みんなが参加しやすい内容を考え、取り組んでいる。 ・バランスよく取り入れられるように考えている。 | |
| ⑳ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い、全員が理解している。 ・こどもの休みや様子について確認し、そのあと職員体制をみて活動について話している。 | |
| ㉑支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・必ずその日にできない日もあるが、それぞれ共有している。 ・その日に振り返りをするのは難しいが、気になることがある時には、翌日の昼礼や療育が始まるまでの時間に確認、共有するようにしている。 | |
| ㉒日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・特記事項があれば、記録したり、職員間で共有したりしている。 ・毎日の記録は徹底できていない。 | |
| ㉓定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・年2回行っている。 ・今必要と思われる内容に変更することもある。 | |
| ㉔放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・活動の中に取り入れている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流に関しては、今後少しずつ広げる。 |
| ㉕こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・問題が起きた時、こども同士で話し合ったり、オープンクエッションをしたりしている。 ・そのような支援も意図的に療育に取り入れている。 | |
| ㉖障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を良く理解したものが参画しているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所の会議やモニタリングを行うことで、こどもの状況を理解する機会を設けている。 | |

| | | | | |
|---|---|--|---|----------------------------|
| ⑳地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか | ○ | | ・対象利用児がない。 | |
| ㉑学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換・こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | ・確認を怠らないようにしている。 | |
| ㉒就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | ・あまり行っていない。 ・現在通っている学校とは共有のため連絡がとれている。 | |
| ㉓学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | ・行っていない。 | ・情報共有を行うことで今後の繋がりを作っていく。 |
| ㉔地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか | ○ | | ・自事業所がセンターである。所長や主任がスーパーバイザーの役割を担っている。 ・設けていない。 | |
| ㉕放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか | ○ | | ・交流機会はほとんどない。 | ・長期休みなどに積極的に交流をする機会を作っていく。 |
| ㉖（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | ・自立支援協議会の部会に参加している。 | |
| ㉗日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | ・送迎時や連絡帳などで伝え合うことができている。 ・登降所時はあまりできていない。 | |
| ㉘家族の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか | ○ | | ・個別に相談できる機会は作っている。 ・案内をその都度発信したり、事業所内で企画して開催したりしている。 | |
| ㉙運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | ・契約時に説明をしている。 | |
| ㉚放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する | ○ | | ・個別懇談をして意向や要望を聞いている。 ・懇談等でご意向を聞いている。 | |

| | | | | |
|---|---|--|---|-------------------------------|
| 機会を設けているか | | | | |
| ③⑧「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか | ○ | | ・怠らずできている。 | |
| ③⑨家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか | ○ | | ・気軽に相談できるよう、普段から保護者と関係を築くよう努めている。 ・相談カードをつくり、配置している。 | |
| ④⑩父母の会の活動を支援することや、保護者会などを開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか | ○ | | ・設けている。 | ・参加しやすい日程、開催方法については検討する必要がある。 |
| ④⑪こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | ・職員間で周知し、対応している。 ・上司に報告している。 | |
| ④⑫定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか | ○ | | ・定期的に発信していると思う。 | |
| ④⑬個人情報の取扱いに十分注意しているか | ○ | | ・気を付けている。 | |
| ④⑭障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | ・配慮をしていると思っている。 | |
| ④⑮事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | ・あまり機会がないと思っている。 | ・今後も地域へ出かけたり、招待したりする機会を作る。 |
| ④⑯事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ○ | | ・定期的に訓練を行っている。 ・保護者には周知できていないところもある。 | |

| | | | | |
|--|---|---|--|--|
| ④⑦業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・あまりできていないと思う。 ・今後計画する予定。 | <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなことを想定した研修や訓練を定期的に行う。 |
| ④⑧事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・特別な事項に対して周知している。 ・誰でもわかりやすいように表を作成していつでも見ることができるようにしている | |
| ④⑨食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・対応している。 | |
| ④⑩安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・定期点検を行っている。 | |
| 51 こどもの安全確保に関して、家族等と連携が図られるよう、安全規格に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・よくわからない。 | |
| 52 ヒヤリハット事例集を事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・掲示や会議などで確認している。 | |
| 53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・研修やアンケートをし、振り返る機会がある。 | |
| 54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・拘束をする場面はないように感じている。 ・計画に記載する事案はないが、そのような時には、必ず保護者に了解を得る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・制限や禁止など身体拘束の適正化を図る機会を設ける。 |

社会福祉法人 岡山こども協会

○あかいわ児童発達支援センター もみじの家

・放課後等デイサービス こぶしの家

○放課後等デイサービス あんずの家

○児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家



作成年月日 令和7年2月25日

わたしたち岡山こども協会は

いつでもだれでも

私たち法人を必要とするすべての方に門を開いています。

一人ひとりを大切に

子どもたち一人ひとりが、友だちとともに豊かな経験ができるようにします。

おとなも育つ

親・保育者・地域の子どもをとりまくおとなが、子どもとともに育つ場所にします。

新たな一歩

社会や地域のニーズに目を向け、社会福祉施設として、幅広い世代を支える事業を進めます。

を目指します。

法人理念

『生きる力』を育みます。

生活する力

【健康・生活】身辺自立、社会生活に必要なスキルをスモールステップで身につけられるよう支援します。

【認知・行動】生活スキルやマナー、公共機関の利用方法など社会生活に必要なスキルをご家族と協力しながら伝えていきます。

人とかかわる力

【言語・コミュニケーション】自己表現の方法を子どもや保護者と一緒に考えていきます。

【人間関係・社会性】自由時間の過ごし方や友だちとの交流の仕方など、小集団の中で身につけられるよう支援します。

【人間関係・社会性】人とより良い関係が作れるよう子どもにあった方法で伝えます。

学ぶ力

【健康・生活】個々の子どもが活動しやすい環境設定に努めます。

【人間関係・社会性】「楽しめること」「わかること」を見つけ、そのことが子どもの「強み」になるよう支援します。

【言語・コミュニケーション】質問したり、援助要求を出したりする方法を身につけられるよう支援します。

【運動・感覚】あそびや活動を通して、指先の巧緻性や身体を使う力を養います。



家族支援

- ・懇談の実施
- ・連絡帳を介した子どもの情報共有
- ・支援内容に関する情報発信
- ・つながるカフェ

移行支援

- ・ライフステージの切り替えを見据えた取り組み
- ・在籍園・校や就学先、就労先との情報共有

地域支援・地域連携

- ・在籍園・校との情報共有
- ・地域資源の活用
- ・同敷地内療育施設との交流

職員の質の向上に資する取組

- ・経験年数に応じたフォローアップ研修や法人内研修の実施
- ・障がい理解を深める県内外の研修への参加

連携した療育の実施

あかいわ児童発達支援センターでは就学前から18歳までのお子さんを対象に継続した療育を実施しています。相談支援事業、保育所等訪問支援事業、所属園、在籍校との連携など様々な角度から総合的に一人ひとりの子どもの育ちの連続性を意識した支援を行っています。

主な行事等

- ・季節に応じたイベント ・夏まつり
- ・おでかけ体験（こぶし） ・避難訓練（月1回）
- ・入所児歓迎会、卒所式 他